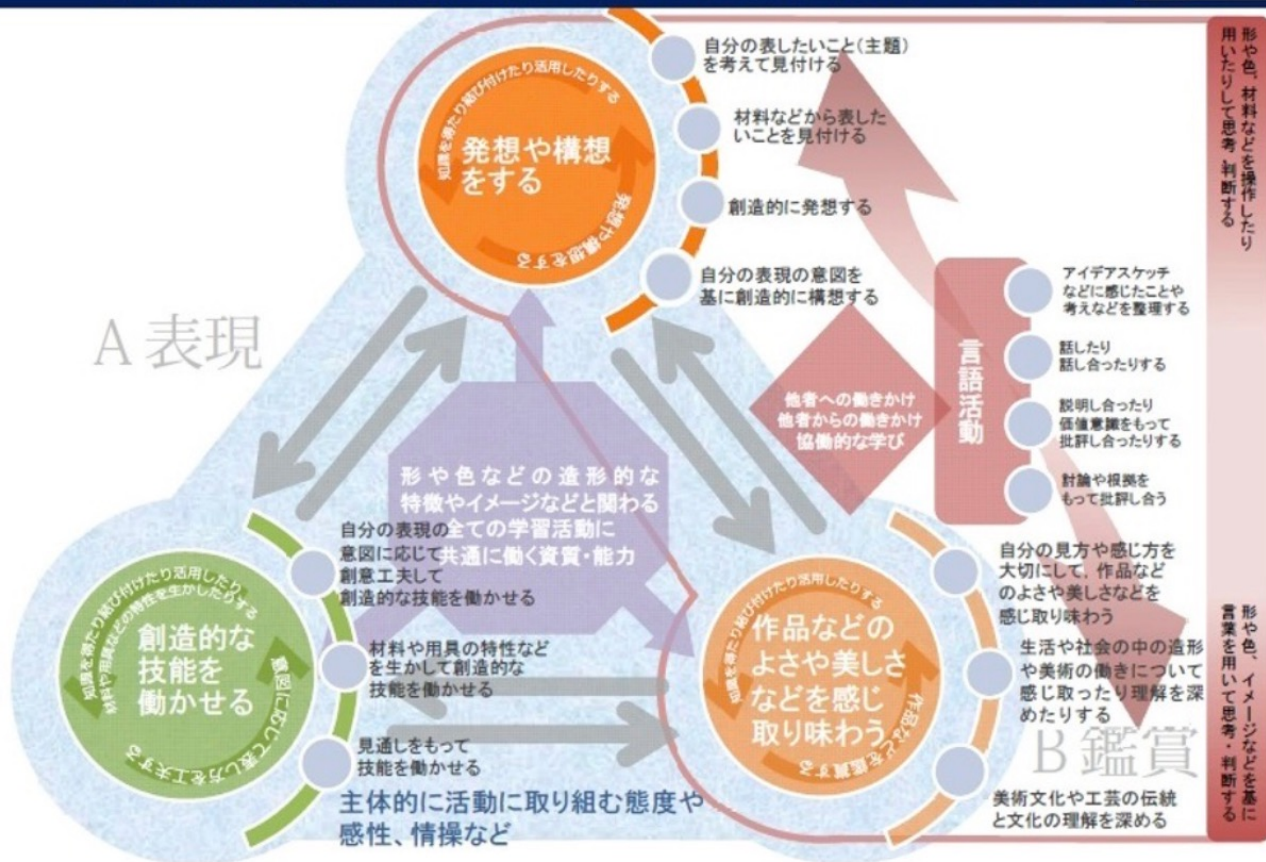


図画工作・美術

図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸）における学習過程のイメージ（その1）

別添 9 - 3



図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸）における学習過程のイメージ（その1）



学年・題材名：中学校2年・ZOOTOPIA～私を動物に例えると～

見方・考え方：感性や想像力を働かせ、表したい動物を形や色の視点で捉え、感情にもたらず効果を基に、表したいことについて意味や価値をつくりだすこと

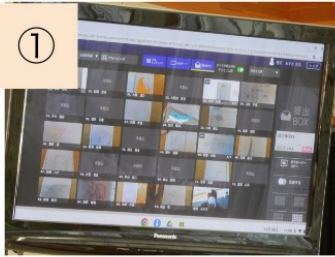
ICTの活用：クラウドを用いて、互いの表現テーマとアイデアスケッチを共有し自分の表現の参考にできるように活用

学習場面：自分の表現テーマやアイデアを決めたり練ったりする場面

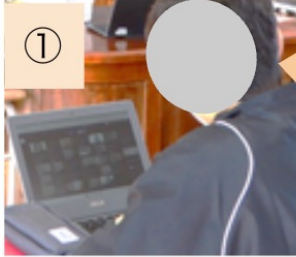
「情報の収集」「整理・分析」に至るまでの流れと次の学びへのイメージ

表したい動物について、およそ決め出した表現テーマや思い付いたことを描き留めたアイデアスケッチ、参考資料を端末で撮り、順次クラウドに保存し共有する。互いに見合ったり、コメントを入力し合ったりしながら、自分の表現テーマやアイデアを決めたり練ったりしていくことに繋げていく。

①



①



写真① テレビモニターや個人の端末で、クラウドに保存された学級全員の表現テーマとアイデアスケッチをじっくり見つめる。生徒は、その中から自分が参考にしたい友のシートを選んだ。

②



写真② 生徒は、参考にしたい友の表現テーマやアイデアスケッチを見て、友の表現にコメントを入力した後、友の表現テーマを参考にしながら自分の表現テーマを書き直したり、新たに思いついたアイデアスケッチをいくつもクラウドに保存したりした。

③



写真③ 表現テーマを決め、アイデアがかたまと、配色も練り始めた。自分の表したいイメージに合うまで、色の組み合わせを瞬時に変えながら、何度も配色を試していった。

この事例のポイント

- ・友の表現テーマとアイデアスケッチとをクラウド上で関連させて見ることで、友の表現の意図や工夫を捉えることができ、自分の表したいイメージを具体的にしていくことができる。
- ・手描きのアイデアスケッチも併用し、思い付いたことをメモ感覚で描き留めることで、思考を停滞させずに追求していくことができる。描き留めたメモをクラウドに保存することで、自分のアイデアの変化を実感すると共に、これまでのアイデアを見返して、新たな発想や構想に繋げていくことができる。

